

普及活動情勢報告（令和 7 年 3 月分）

中央西農業振興センター農業改良普及課

高品質な米作りを目指して ～土佐岩戸米営農組合栽培技術研修会～



2月14日、土佐岩戸米営農組合が栽培技術研修会を開催し、生産者26人の参加がありました。土佐岩戸米は今年度も全国食味コンテストで金賞を受賞しており、全国屈指の品質を誇っています。

今回の研修会では、ドローンのデモ飛行が行われ、防除の省力化への関心が高まっている様子でした。

農業改良普及課からは、今作の振り返りと稲わらのすき込みについて周知しました。生産者からは「今作は水管理に問題があった」「早めにわらをすき込む」などの意見が出るなど、活発な研修会となりました。

農業改良普及課は、今後も土佐岩戸米営農組合の高品質な米作りを支援していきます。

令和6年度の普及活動実績について意見交換しました ～ 令和6年度第2回中央西地区農業改良普及推進協議会 ～



2月28日、中央西農業振興センターで第2回中央西地区農業改良普及推進協議会を開催し、生産者代表及び関係機関等から11名の参加がありました。

農業改良普及課から令和6年度普及指導活動実績の説明、農業経営・就農サポート推進事業等について情報提供し、その後、意見交換を行いました。委員からは「竹チップ堆肥の成果が出たら是非伝えて欲しい」、「露地野菜栽培で鳥獣被害に困っている。イノシシだけでなく鳥の被害も増えている」、「資材高騰により新規就農にお金がかかる」等の意見が出されました。

農業改良普及課は、委員から出た意見を今後の普及活動に反映し、地域や農業の課題解決に取り組みます。

水稻の省力化と差別化した販売を目指して！！ ～(農)ふぁー夢宗呂川先進地視察研修の実施～



農業改良普及課は、(農)上東の水稻栽培の省力化や販売の差別化を進めるため、3月5日、土佐清水市の(農)ふぁー夢宗呂川への先進地視察研修を計画しました。(農)上東からは役員7人が参加し、緑肥としてのヘアリーベッチを活用した経費削減や省力化、米の販売についての説明を受けると共に、栽培しているほ場を見学しました。

参加者の関心は高く、ヘアリーベッチのすき込み方法や施肥量の考え方等の質問が出されました。実際に栽培している組織の話は具体的で、情報収集の場となりました。

農業改良普及課は、次年度(農)上東で緑肥活用等の試験を行い、普及を目指し支援していきます。

放置竹林を有効活用！生姜生産者のコスト軽減を目指して
～ 被覆資材の代替品として活用可能か？！実証試験準備編 ～



3月7日、いの町生姜生産者等8名および関係者5名で、竹チップ作成実演会を実施しました。

現在、いの町では放置竹林が散見されており、地域の特産品である生姜栽培で有効活用できないか検討しています。

農業改良普及課では、被覆資材として使用されるケイントップの代替品として活用できないか検証するため、令和7年産の栽培で実証試験ができるように、いの町職員や生姜生産者とともに竹チップを作成しました。今回は生姜生産者だけでなく、竹林の管理に困っている町民にも開催を通知していたことから、今後の竹林管理の参考になったとの声もあがりました。

いの町のみならず、土佐市でも関心が高い竹の有効活用については、いの町生姜生産研究会を中心に今後も検証を行い、随時進捗状況を生産者にフィードバックしていきます。